

東北大学金属材料研究所 平成 20 年度採択所内助成 研究成果報告会について

金属材料研究所が実施している所内 3 助成は、その実施要項において「採択者は、その事業終了後に、審査委員会のヒアリングを受けるものとする」ことが定められております。この度、所内助成の研究成果を広く発信するために審査委員会によるヒアリングを兼ねた研究成果報告会を下記要領・日程にて開催いたしました。

【報告会要領】

- ・ 1 研究課題につき 50 分成果報告・10 分審査委員による質疑応答

【報告会日程】

- ・ 開催日：平成 22 年 7 月 2 日（金）
- ・ 開催場所：金属材料研究所 COE 棟 2 階 セミナー室 1

○ナノマテリアル機能創製研究事業に係る研究プログラム助成

1. 近接場光と高速電子の融合によるナノ機能創製
(大野 裕 准教授) . . . (10 : 05 ~ 11 : 05)
2. 三次元トモグラフィ法を活用した形状記憶チタン合金のマルテンサイト変態の解明
(今野 豊彦 教授) . . . (11 : 05 ~ 12 : 05)
3. 高温・放射線場での耐照射溶融シリカ光ファイバのナノ結晶成長制御
(四竈 樹男 教授) . . . (13 : 15 ~ 14 : 15)

○金属ガラス・無機材料接合開発共同研究プロジェクトに係る研究プログラム助成の部

1. 引張伸びを示す高延性バルク金属ガラスの開発
(横山 嘉彦 准教授) . . . (14 : 15 ~ 15 : 15)
2. ポーラス金属ガラスの開発
(和田 武 助教) . . . (15 : 30 ~ 16 : 30)

※赤堀准教授は都合により報告会を欠席されたため、後日、報告の機会を設けるとしました。

報告会においては、審査委員と報告者との間で活発に質疑応答が行われました。また、当所の研究者をはじめとして、学生、民間企業関係者など約 30 名の方々にご参加いただきました。

